

日本労働年鑑 第51集 1981年版  
The Labour Year Book of Japan 1981

第二部 労働運動

XIV 政党

5 日本共産党

5 国際活動

概況

この一年間の日本共産党の国際活動でもっとも重要な出来事は、七九年一二月に宮本委員長が訪ソし、一五年間断絶状態にあったソビエト共産党との関係が公式に正常化したことであろう。ところで、その直後にソビエトのアフガニスタンにたいする軍事介入問題が起こり、日本共産党の対応が注目された。これについて同党は一月一〇日に「アフガニスタンの事態について」と題する常任幹部会の声明を発表し、ソ連の行動を内政干渉、主権侵害として非難し、ソ連軍の早急な撤退を要求した。

一方、中国共産党とは依然として対立状態がつづいている。しかし、公然たる相互非難は少なくなり、日本共産党を支持する文化人が中国に招待されるなど変化のきざしはある。なお、日中両共産党の断絶のきっかけとなった一九六六年の両党会談に関する詳細な記録が『世界政治』五七三号、五七四号(八〇年五月、六月)に発表された。

また、発達した資本主義諸国の共産党との交流は年々さかんになり、この一年間でも、国際理論シンポジウムや第一五回党大会にかつてなく多数の代表が参加した。

日ソ両共産党関係、一五年ぶりに正常化

日本共産党とソ連共産党の関係は、一九六四年以来、断絶状態にあった。しかし両党関係正常化のための予備会談が七九年二月、四月おこなわれ、両党の合意が成立した。さらに八月と一一月の予備会談を経て七九年一二月一七日から二七日まで宮本委員長を団長とする日本共産党代表団がモスクワを訪問し、ブレジネフ書記長を団長とするソ連共産党代表団と正式会談をおこない、同二四日共同声明を発表した。この結果、両党の関係は一五年ぶりに正常化した。共同声明の全文は『赤旗』一二月二五日付に発表され、『理論政策』一四四号(八〇年一月)に再録されている。なお、四月の予備会談における合意文書の主要点については、本年鑑第五〇集四六五頁参照。

国際理論シンポジウム

共産党は党の創立五七周年を記念する国際理論シンポジウムを七九年七月一六日から一八日までの三日間、東京・千駄谷の党本部で開催した。シンポジウムのテーマは「発達した資本主義諸国の闘争の現状と展望」「新国際経済秩序について」「科学的社会主義の事業と平和」の三つで、イタリア、イギリス、西ドイツ、オーストラリア、フランス、アメリカ、メキシコ、スペイン、スウェーデン、それに日本の一〇カ国の共産党の代表一三人が参加した。一三人の内訳は、日本三、イタリア二、他は

各一である。日本共産党が主催する国際理論会議は、一九七二年に党創立五〇周年を記念して開かれており、これが二度目であった。シンポジウムでの報告や発言の全文は『前衛』第四四二号(七九年一〇月)に収録されている。

## 第一五回大会に出席した外国党

日本共産党大会への外国の共産党代表の出席は七七年の第一四回大会では九カ国であったが、八〇年二月の第一五回大会には、つぎの三〇の外国党の代表が出席した。(1)イタリア共産党 (2)イギリス共産党 (3)イスラエル共産党 (4)ハンガリー社会主義労働者党 (5)西ベルリン社会主義統一党 (6)ポーランド統一労働者党 (7)ベトナム共産党 (8)ペルー共産党 (9)ベルギー共産党 (10)ドイツ共産党 (11)ドイツ社会主義統一党 (12)チリ共産党 (13)チェコスロバキア共産党 (14)ルーマニア共産党 (15)レバノン共産党 (16)ソ連共産党 (17)ラオス人民革命党 (18)オーストリア共産党 (19)オーストラリア共産党 (20)ブルガリア共産党 (21)フランス共産党 (22)デンマーク共産党 (23)アメリカ共産党 (24)アンゴラ解放人民運動＝労働党 (25)キューバ共産党 (26)ユーゴスラビア共産主義者同盟 (27)メキシコ共産党 (28)スイス労働党 (29)スウェーデン左翼党 (30)スペイン共産党(イロハ順)。このほか代表団が出席した二五の党をふくむ四九の共産党、社会党、労働党から大会にメッセージが寄せられた。

## 日本共産党代表の外国訪問

別項の宮本委員長らのソビエト訪問のほか、七九年八月二二日～二六日のアメリカ共産党大会に星野力幹部会委員らが、また同一一月一九日～二四日のルーマニア共産党大会に村上副委員長らが出席した。また八〇年五月八日におこなわれたユーゴのチトー大統領の国葬には瀬長副委員長が列席した。このほかフランス共産党のユマニテ祭(九月八日～九日)、スペイン共産党のムンド・オブレロ祭(九月二八日～三〇日)、メキシコ共産党のオポンシオン祭(八〇年五月一六日～一八日)にも、日本共産党の代表が参加した。

日本労働年鑑 第51集 1981年版

発行 1980年11月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

労働旬報社

\*\*\*\*年\*\*月\*\*日公開開始

---

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1981年版(第51集)【目次】 次のページ → ■  
日本労働年鑑【総合案内】

---

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)

---